

新庁舎建設だより

～八女市新庁舎建設工事～

2023年11月 No.21
発行:八女市企画部
新庁舎建設課

工事の進捗状況

10月は天候にも恵まれ、外部の塗装や防水工事など順調に進めることができました。外構工事に絡む部分から外部足場の解体を行ってきており、シートに覆われていた外観が、徐々に確認できるようになってきています。内装工事も全てのフロアにおいて着々と進められており、最上階（5階）には、受変電設備や発電機、空調機器など大型の設備が搬入されました。

外構工事などの影響により、市役所敷地内も工事の進捗に合わせ通行できない所があり、来庁されるみなさまに大変ご迷惑おかけしていますが、ご理解ご協力のほどよろしく願いたします。



新庁舎棟工事全景（令和5年11月2日 敷地南側よりドローンにて撮影）



通行止めの状況



新庁舎北西角（おりなす八女側）



新庁舎南東角交差点より（左上は設計時の完成パース）



不燃処理を施した「八女スキ」を、軒裏の仕上材に使用しています。



建物内の中央の鉄骨階段も取り付けられました。



庁舎南側も外構工事が進んでおり、受水槽などの基礎工事が行われています。



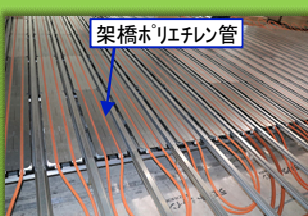
5階バルコニーには、大型の空調機器等の設置工事が進んでいます。



1・2階は床下地まで完了し、今月中旬に2階からフローリング工事を開始します。



約1年4ヶ月、現場で活躍した90tクローラークレーンが解体され搬出されました。



床下に設置された架橋ポリエチレン管

床冷暖房 新庁舎では、来庁者の多い1階の待合ホールに『冷温水式床放射冷暖房システム』を採用しています。床下に設置した特殊部材に架橋ポリエチレン管を通し、夏は冷水（約16℃）、冬は温水（約43℃）を循環させ、床面の冷却・加熱による放射熱に、床吹出空調を合わせたハイブリッド空調方式です。①床全体を冷やす（暖める）ため、室内の温度が均一になり、②床吹出からの空気が、2m～3m付近の居住域を集中して空調し、③床からの放射効果により室内の空調設定温度を下げる（上げる）ことが可能となり、大空間でも大きな省エネを実現します。

11月の工事予定 ※ 現場全休日：日曜日（5日のみ作業を実施します。）

内装工事（1～5階）	→	→	→	→	→	→	→	→	→
外装工事	→	→	→	→	→	→	→	→	→
外部足場解体	→								→
外構工事	→	→	→	→	→	→	→	→	→
設備配管配線工事	→	→	→	→	→	→	→	→	→
地中熱設備工事	→								→

問い合わせ: 新庁舎建設課: 0943-24-8091
工事現場事務所: 0943-24-8650 (施工業者: 東急・イクイラヴ ジャパン)